

あなたの

よりよく生きるための

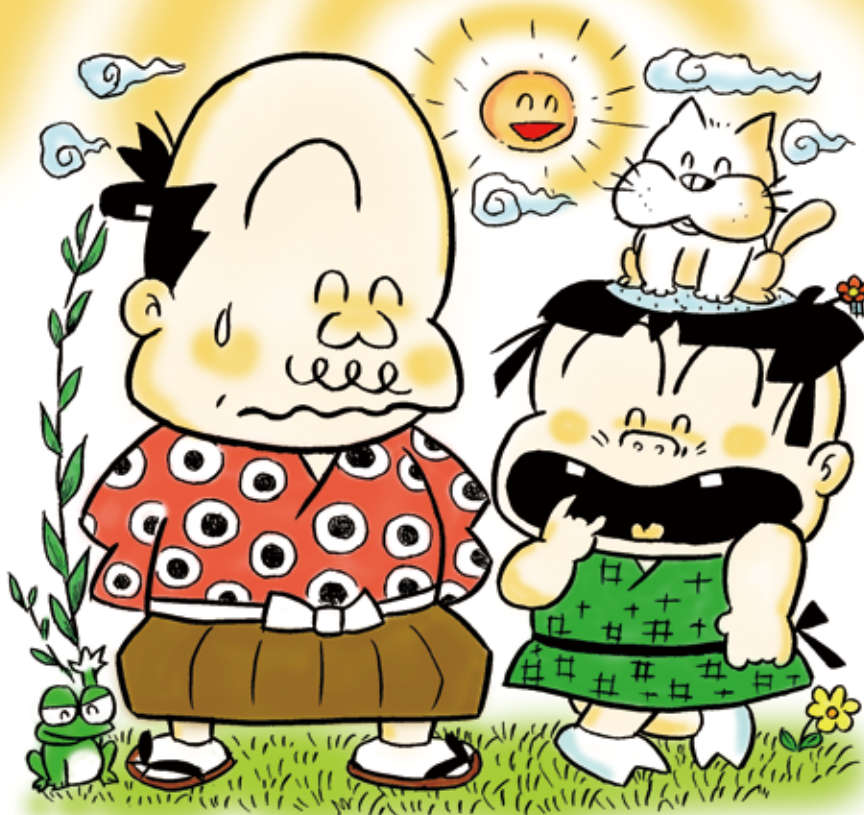
「リビングウィル」

～人生の終末期における意思表示～

“もしもの時”… 病気や怪我で意識が戻らず、回復の見込みがない時、あなたはどのようにしてもらいたいですか？

「縁起でもない」「考えたくない」事かもしれません。でも、今話しておかないと、“もしもの時”には家族や医師に伝えられないかもしれません。

「リビングウィル」とは、その時のために終末期の医療処置等について自分の気持ちを表しておくものです。



©土田よしこ

武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会

平成27年4月

※在宅医療・介護連携推進協議会…多職種多機関の理解を深め、連携を円滑にして、地域に住む人々への支援を行う上での課題を解決することを目的とし、医療・保健・福祉・介護の各機関・団体の代表者により実施される会議

リビングウィルとは何か？

リビングウィルとは、“もしもの時”（たとえば病気や怪我で意識が戻らなくなり、回復の見込みがない場合など）のために、終末期の医療処置等について意思表示をしておくものです。

なぜリビングウィルが求められるのか？

意識がなくなったり、認知症になって判断能力が低下したりして意思表示ができなくなって、さらに病気や怪我が末期の状態では回復の見込みがない人に対して、「本人が延命治療を望んでいない」ということが分からなければ延命治療が行われることになります。なぜなら、通常、医師は1分1秒でも長く生きられるようにすることが求められるからです。そして、家族もまた、本人の意思が分からないままに延命治療を受け入れる、あるいは拒否する難しさに直面することになります。



©土田よしこ

「死」というものは、誰にでもいつかやってきます。その「死」に対して、人生の終末期における意思表示をあらかじめしておくことは、自分の希望が最大限生かされることになります。また同時に、意識がなくなった時などに、本人の医療処置等について判断を求められる方（家族など）が、いざというときに困らないようにするための手段にもなります。

つまり、リビングウィルを用意しておくことは、本人・家族・医療従事者の三者が納得できる人生の終末期を迎えるための準備となります。

※ただし、本人が臓器提供を望む場合には、適切なタイミングまで延命治療を必要とする場合があります。



©土田よしこ

よりよく生きるためのあなたのリビングウィル

～どのような場面で、どのような選択が必要になるか？～

回復の見込みがないと診断され、かつ死期が近づいている場合に、延命治療（人工呼吸器や胃ろう（腹部に胃と直接つながる穴を作る）、点滴などによって生命を維持する）を行うかどうかについての判断が必要となります。その時、本人が意思表示ができない場合には、家族等が何をどのように選択するかが重要になります。

自分が“もしもの時”に、どのような対応をして欲しいかを、あらかじめ考えておくことが大切です。もしも、病気や怪我で意識が戻らなくなり、回復の見込みがなくなったとき、あなたは医師や家族にどのようにしてほしいですか？

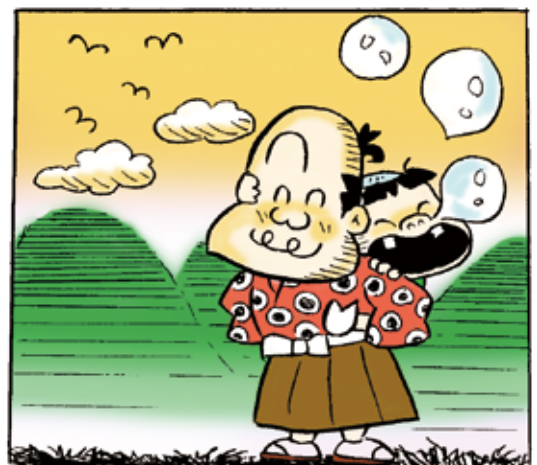


©土田よしこ

〈このような選択肢が考えられます〉

- ① できるだけ救命、延命をしてほしい。
＝可能な限りすべての医療処置を受けることを希望する。
- ② 苦痛をやわらげる処置なら希望する。
＝積極的な治療は希望しないが、痛みや呼吸の苦しさを緩和するための医療処置は希望する。
- ③ なるべく自然な状態で見守ってほしい。
＝積極的な治療は希望せず、痛みや呼吸の苦しさを緩和するための医療処置も希望しない。

リビングウィルは、その内容や目的を十分に理解した上で、自分の率直な考えを書いておくものです。そして、家族や主治医などとよく話し合い、お互いが納得しておくことで、いざというときに自分の意思を尊重してもらうことができるようになります。また、一度書いたものをいつでも見返して、変えても良いのです。



©土田よしこ

参考 終末期に関連する医療処置

病気や怪我などで死期が近づいた時には、下記のような状況になることがあります。

もしも、口からものを食べられなくなったら

意識が無かったり、むせたりして水分を口から摂取できない場合に、点滴によって水分補給しますが、これだけで十分な栄養を取ることは困難です。

そこで、カテーテルを通して、より栄養価の高い輸液をしたり、鼻チューブや胃ろうから流動食を注入したりします。



©土田よしこ

もしも、呼吸や心臓が止まったら

心臓マッサージや気管挿管（口や鼻から気管に管を入れる）、気管切開（喉仏の下あたりから直接気管に管を入れる）、人工呼吸器（気管に入れた管に機械を取り付けて呼吸を助ける）をつけるなどの医療処置を行います。

あなたなら、どうしたいですか？

最後まで自分の意思・生き方を、自分の意向に沿ったものにするために、意思表示が可能である**今、自分のリビングウィルについて考えてみましょう。**

意思表示にはこのパンフレットに付属の記載用紙をご利用下さい。「武蔵野市緊急医療情報キット」にある『もしもの時に医師に伝えたい事』欄を活用いただくことも可能です。

ご自身の終末期のこと、一度ゆっくりと考えてみてはいかがでしょうか。



武蔵野市緊急医療情報キット

自宅で急に倒れてしまっても救急車を呼んだ時などに、本人の意識がなかったり、家族の気が動転していたりしても、救急隊員に必要な情報を正しく伝えるために、普段から用意しておくキットです。（希望者は下記までお問い合わせ下さい。）

※なお、このパンフレットは、特定の行動を強要するものではなく、誰もが到達する人生の終末期について関心を持っていただくことを目的としています。

パンフレットについての問い合わせ先：

武蔵野市健康福祉部地域支援課（武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会事務局）

住所：〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28 TEL：0422-60-1941 FAX：0422-51-9218

e-mail：SEC-CHIKI@city.musashino.lg.jp

イラスト協力：土田よしこ氏（武蔵野市在住、漫画家、代表作「つる姫じゃ〜っ！」他多数）